

4 月の定例会・勉強会

日 程 平成 23 年 4 月 3 日 (日)
 定 例 会 9:30~10:00
 勉 強 会 10:00~12:00
 精神障がい者家族の会
 「びわの会」講演



3 月の予定

- 1 日 (火) 会報「まごころ」発行
ミニデイサービス
- 2 日 (水) サービス提供責任者会議
- 3 日 (木) ふれあいサロン
- 5 日 (土) 福祉たすけあいフォーラム参加
- 6 日 (日) 定例会・勉強会
- 8 日 (火) ミニデイサービス
- 9 日 (水) サービス提供責任者会議
- 10 日 (木) ふれあいサロン
サービス提供責任者スキルアップ
研修参加(名古屋)
- 11 日 (金) 2011 市民協研修会参加 (群馬)
NHKハートフォーラム参加 (名古屋)
- 12 日 (土) 2011 市民協研修会参加 (群馬)
- 15 日 (火) ミニデイサービス
- 16 日 (水) サービス提供責任者会議
- 17 日 (木) ふれあいサロン
あいち福祉ネット理事会
- 20 日 (日) 赤見町内会総会出席
- 22 日 (火) ミニデイサービス
- 23 日 (水) サービス提供責任者会議
- 24 日 (木) ふれあいサロン
児童デイ定例会
- 25 日 (金) 「介護記録」研修会参加(名古屋)
- 28 日 (月) 移動ネットあいち理事会
- 29 日 (火) ミニデイサービス
- 30 日 (水) サービス提供責任者会議



平成 22 年度 一宮市元気はつらつ川柳入選作品~

介護予防を広く市民に知ってもらうために、一宮市では「元気はつらつ川柳」を募集したところ、1191 作品の応募がありました。最優秀賞の作品とまごころの利用者さんの入選作をご紹介します。



◇最優秀賞

よく歩き 鍛えた脚で 老いを蹴る
菅井一男 (京都府)

◇入賞

介護予防 今日の為より 明日の為
伊藤貢 (一宮市)

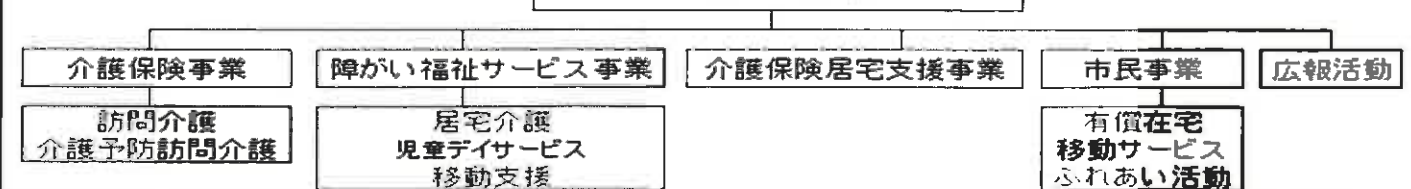
お知らせ

まごころ広場を利用して毎週月曜日に開催されていたヨガ教室が 2 月で終了しました。ご利用ありがとうございました。

月	会員数				市民事業				介護保険				障害福祉サービス											
	協力	利用	賛助	合計	有償活動		ふれあい活動		介護予防	訪問介護	居宅支援介護	居宅介護		移動支援		児童デイ								
					在宅	移動サービス回数	ふれあいサロン	ふれあいサロン				回数	時間	回数	時間		回数	時間						
12月	57	112	47	216	246	264.5	141	156	0	4	50	4	63	217	238.0	600	679.5	41	348	311.5	49	119.0	25	204

NPO法人一宮まごころ

事業内容



まごころ

研修報告 リスクマネジメント

2 月 25 日(金)ファッションデザインセンターにおいてインターリスク総研の松岡伸輔氏による『施設の法的責任と事故対応について』の研修会が開催されました。

特に契約に基づく義務を果たしていない場合に負う責任が気になりました。事業所で決めたマニュアルを守っているかが問われます。いろいろ紹介された事例を参考に、一宮まごころも管理体制を検討したいと思っています。



研修報告 レスパイト入院

難病医療ネットワーク 尾張ブロック連絡会が 2 月 24 日(木) 一宮市立市民病院にて開催されました。入院治療が必要となった難病患者が適時適切に入院できるように地域の医療機関の連携による体制整備を図ることを目的として、平成 11 年からネットワーク推進事業がすすめられています。

もともとレスパイトというのは一時的中断とか息抜きという意味があり、在宅介護で疲れきってしまわないための入院がレスパイト入院だそうです。これによって、患者と介護者の共倒れや虐待の防止につながっています。しかし次のような問題点があるようです。

- ・慢性的にベット数が不足している
- ・主治医ではないので患者の病状把握が困難
- ・介護者が高齢である
- ・在宅療養が困難である

各地域では難病患者の安定した療養生活の確保と患者とその家族の生活の質 (QOL) の向上を目指し支援体制の構築を目指しています。

特定非営利活動法人一宮まごころ

〒491-0041 一宮市文京 1 丁目 4-6
 電話 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870
 E-mail magokoro@plum.ocn.ne.jp
 ホームページ <http://www.owari.ne.jp/~magokoro/>
NPO 法人まごころ児童デイ事業所
 〒491-0023 一宮市赤見 4 丁目 2-4
 電話 0586-25-2667 Fax 0586-25-2668
 E-mail magokorojidou@plum.ocn.ne.jp

情報の記録・管理

▼記録文書の訂正ルールを決める

加筆訂正と誤解されるような記録にならないようにし、修正液等の使用はやめる。

家族への対応

▼結果に対して謝罪することをためらわない

謝罪=賠償責任ではないが、対応は誠実かつ速やかに行い、事故再発防止の取り組みを早期に実施することが必要です。

◇尾張ブロックの協力病院

- ・藤田保健衛生大学病院 (次期基幹病院)
- ・国立長寿医療研究センター
- ・春日井市民病院
- ・津島市民病院
- ・一宮市民病院



相談内容は専門医紹介が 4 割

拠点病院での相談者の疾患の多くは筋委縮性側索硬化症が三分の一で相談内容は入院希望と専門医の紹介が 4 割を占めています。

また、ネットワークを知るきっかけはインターネットが大半で保健所が 1 割余りとのこと。

今後の課題としては入院施設の増加や在宅担当医 (家庭医) の推奨を図りながら他の施設 (保健所等) との連携を進めることが大切です。

難病患者の生活支援に関わる保健・医療・介護・福祉に従事する者の役割、支援を考える必要を感じました。